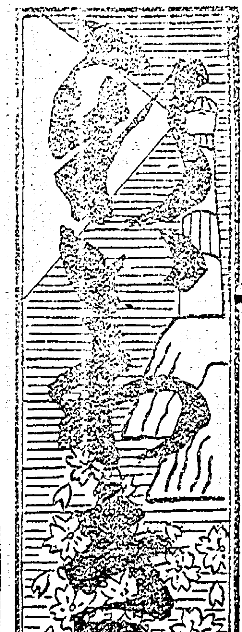
八月二十一日夕刊



休日 日曜 祭日
一ヶ月 二十五錢
郵税 十五錢 一部二錢
廣告料 一行 四十錢
場所指定 貳拾錢増
發行兼編輯印刷人 半谷政寄
發行所 福島縣平町大町二三 新いわき新聞社

初秋繭の出廻盛期
來る廿六七日頃か
片倉と四倉市場で四萬五千貫
相場は一圓六七十錢豫想

石城地方の初秋繭は來る二十五、六日頃からの出廻りで四倉繭市場は二十六日より開場されるが取引豫定數量一萬五千貫を見込み平町片倉製糸の特約組合は前記二十五、六日頃大並の出盛りを見込まれて買入數量三萬貫を豫定されてゐるが今年の繭の出來方は不良ではないが恰度上族に近づいて蠶齡頃に雨天勝であつた影響があり現在の天候では晩秋繭は見事な成績だらうと云はれてゐる尚ほ相場の豫想は現在取引されてゐる船引方面の十七圓五、六十錢に徵して一圓六、七十錢かと云はれてゐるが四倉市場の晩秋繭取引數量は少なくて三万貫位を見込まれてゐると

石城販利の平町總代
昨日の選擧當選者

平町に於ける石城販利組合の總代員選擧は昨二十日午前九時から午後三時までの投票で開票の結果は有權者九十四名の中出席二十四、委任三十四計五十八名で左記當選した

三十點大谷要次郎（紺屋町）二十點丹野周一郎（五丁目）次點七票酒井猶治 一票猪狩四郎（以上）

中堅農民の修養會
來る二十七日から三日間渡邊校にて

石城郡農會に於ける中堅農民講習會では來る二十七、八、九の三日渡邊小學校に於て修養會を開催し郡農會の青山主任技師、柴田技手、内田書記諸氏も共に會員百二十名と起臥し炊事萬端から晝夜の修養課目を講師に聘する郡山市幼稚園主杉山政治氏の指揮を受けて定むる筈であると

戊辰殉難者追悼會
平町平安會にて

平舊藩士から成る平安會では昨二十日午前十時町内良善寺に於て戊辰殉難者のため第六十七回追悼祭を執行し同寺柳内住職の導師に桐原菩提院住職、遠藤九品寺住職の讀經後參列者百餘名の參拜終つて平安會の總會を開き庶務會計の報告及び昨年八月以降に於ける同會關係の動靜（幹事三名の死）並に安藤子爵の母堂有馬伯未亡人の逝去等を報告されて正午解散した

國立蠶種製造所へ 石城郡の負擔寄附
總額二百五十圓の町村別

信夫郡中野村に建つ國立原々種製造所の設置には地元に於て敷地三町歩その他を寄附される外縣蠶糸業聯盟會關係に於て金五千圓の寄附を決し桑園五町歩は縣及び隣接郡市及び縣蠶聯の支出を充てることになつてゐるが石城郡に對する割當額は二百五十圓で内十圓は平町片倉製糸から寄附されるので各町村の分擔額二百四十圓は左記の如く同郡町村長會では本月末日までに取纒める豫定であるが來月早々送金出來るであらうと

泉六圓 渡邊六 植田八 山田一二 錦九 勿來五 上遠野一二 入遠野一三 川部八 田人組合一二 平三 飯野三 夏井七 高久六 豊間三 江名二 鹿島三 玉川二 磐崎五 内郷二 好間四 赤井八 永戸組合一五 澤渡一五 神谷四 草野一二 大浦一〇 四倉四 大野八 平窪九 上小川組合一二 川前一二

常識講座

自己表彰は自己禮讃と同じ意味だ、自分を他人より區別して表彰し禮讃するもの自らを自らが吹聽する謂で自惚の絶頂、此の種の人間の淺薄、野卑、低劣を侮蔑的に用ひられる、

小麥と菜種の共販相場
石城販聯の商談

石城郡販聯では今二十一日第三回の小麥を共販したが相場は前回値の一俵五圓七十錢で千六百俵を宇都宮市日清製粉に商談されたが近距離のため運賃安で二錢高となり菜種一車（二三五俵）も同時に共販すべく關係製油會社に交渉中であるが前回の七圓四十一錢より上値（一俵八圓台）の見込みであると

改選された二十一名
石城販利總代員

石城郡販賣利用組合の總代員改選は昨二十日關係町村一齊に行はれたが總數二十一名の新總代員は左記の如くである

平町二名大谷要次郎 丹野周一郎 好間村一名金成伊佐吉 四倉三名小湊平次郎 植田万次郎 大和田安太郎 双葉郡大久村二名吉田平藏 水野谷幸一 草野村二名芳賀元治 渡邊三之助 高久村一名本馬武 大浦村三名渡邊金治 高崎兼次郎 ゝ片寄市重 赤井村一名松崎松太 江名町一名加澤一造、小川村三名草野正壽 大森又重 柴崎佐之吉 大野及磐崎各一名は未詳（以上）

不注意から少年に傷害
好間村の自動車

平町三丁目自動車業方運轉手石城郡内郷村の御台境字鬼ヶ澤八生れ久野作衛（二九）は去る十九日午後九時十分頃好間村から平町に向ふ途中好間村の大舘二二二地先き縣道に於て適當の注意を缺いた爲め道路脇の堤に自動車の疾走を避けてゐた平町古鍛冶町三〇江尻正先（一三）の左肩部に車台を解れて左腕に打撲傷及び後頭部に二寸の裂傷（全治二週間）を負はせ平署の取調中

子供の自轉車と自動車の衝突

平町四丁目の鈴木與一方自動車運轉手石城郡入遠野村の上根岸字胴城生れ佐藤正壽（二三）は昨二十日午後三時五十分頃好間方面から砂利を積載したトラックを平町に向つて操從の途中同町字古鍛冶町八八地先き街路に於て前方から自轉車で來た同町三二魚行商重太郎四男綠川榮（一〇）が路傍に積み上げてある砂利の上に乘上げ倒れんとしたのでそれを避けべくハンドルを取つたが榮は自動車の後車に突當り前齒一枚を折り股部を裂傷全治一週間の負傷し安齋病院の手當を受けた

錢箱を掻拂ふ

双葉郡川内村上川内の高田島字後谷地生れ炭燒業遠藤茂秋假名（一七）は去る十九日午前十一時頃平町の立町九五雜貨商鈴木由松方に至り五圓紙幣を崩してくれと店内に入り家人が所用で外出せる不在を奇貨とし店頭にあつた現金四十錢在中の錢箱を掻拂つて逃走し平驛前下水の中に錢箱を捨てゝ在中の金錢を消費し平署に檢擧取調中である

宮田翁の 加波山事件の 實話（六）
文責は記者

斷食を覺悟しながらも心細いので豫ねて同志が懇意してゐた元木村の村長をしてゐる勝田淸一郎の所へ飛び込んで事情を訴へて助勢を賴み、雨引山で宇都宮の開廳式を待つと云つてところ筑波山がよからうと云ふ話も出たが村長の勝田が神主へ手紙をつけてやるから加波山へ行けと云ふので其れにきまり案内三人に米を脊負せして登つて行つた。途中間もなくして夜の明け方となつたので私共一味が大刀を腰に槍を立てゝ山へ登るところを端なくも村の人々に見られてしまつた、其のために非常な評判を招き到底隱れ遁すことが出來ないので其の月二十日にあると云ふ宇都宮の開廳式を控いで追つ手に先んじられてはどうなるか判らぬ 寧ろ此方から攻勢に出やうと旗上げの議を一決して山上に旗を樹て下舘から運べる蓆や筵を張り廻らして氣勢と云ふのではなく虚勢を張つたものである、所が評判が益々高くなり加波山上に數百名の一隊が立て籠つてゐる今に一と騷動が起るものと世間は大した騷ぎである…實は十六名の同志に過ぎなかつたのであるが…そこで斯うして居られぬ、捕手の來るのを待つよりも宇都宮を突いて三島一名だけでも殺つて終はなければならぬ最後の覺悟を決めた其の時の山下の情勢は實に非常な騷ぎで自由黨員と云ふ者を目の敵としてゐた官憲は片つぱしから檢擧して其數四百以上と云はれ小久保なども繋がれた一人であつて栃木と茨城の重立つ有志は悉く擧げられてしまつた、此れを聞えた私共には一層固い決心を促されたのである

坑夫の落盤即死

石城郡湯本町の入山炭鑛坑夫同町字八仙一八號九居住管野初邦（四二）は昨二十日午後五時半過ぎ同坑第六坑内に於て作業中落盤に遭つて即死し平署の檢視を受く

ヤグラ太皷がもう出來た
片倉製糸工場 盆三日間の踊

平町の片倉製糸では例年の通り舊盆三日間の毎夜櫓太皷の手踊に樂しませる筈で工場裏の廣場に於ける池の傍に既に紅白段々卷の櫓が建ち今二十一日夜から從業一同の踊の練習を始める由だが他人混らず工男工女四百の歡樂は小波起す池の蛙までが踊り出すほど賑はふことであらう

◎◎（映）（畫）（館）（ニ）（ュ）（ー）（ス）◎◎
十四日同時公開

待ちに待つた盆が來た、平町の商店街は客の誘致に忙殺されてゐる、わけて映畫界は夏枯れに少なからぬ打擊を受けたらしく其爲此の盆興行に一族擧げんと全力を盡し地方映畫ファンを誘致してゐる、さてその陣容を覗けば

●平館● 日活作夏川姉弟と鈴木傳明出演『心の太陽』後篇メトロ作『モロッコの戀』傳次郎ファンに期待された『丹下左膳』の第二篇斷然盆興行のピカ一だ

●世界館● かつては『ターザン』にその演技を現はした水の王者バスタークラブ主演の姉妹篇『無敵タルザン』 松竹作品『淺太郎赤城の唄』悲調をおびたあの唄を聽いたなら誰しもが見たくなるだらう、さて次は待望久しき『月よりの使者』だ 監督田坂が「心の日月」製作以來の傑作 主演者入江と高田の熱演が多分に現はれて居りまづ本映畫界のホームラン位に値するものと思はれる

お盆の大賣出し
新型品を取揃へて御座います
在荷豊富で値の安い店
（會津桐）（自製専門） 小松履物店
平町警察署通り 電話六七三番
お盆の御用意には特に勉強
景品で人氣を求めぬ代りに品ご値段をみな樣の驚くほどお安く

御中元特賣！
御進物用品各種取揃へ
御子樣のヨロコブ御カ子
贈つて良く頂いて良い鑵詰
平マーケット
電話七〇番
新設致しました、御利用上さい

果物

(桃)の(採)収に就て

[9] 縣農試石城分場長 齋藤技師

◇八月二十七日採收
觀測時　後四時　同十時
氣　溫　二、六　二、六
紙包無墳充　四、九　四、五
同　鋸屑詰　七、二　六、四
同　木毛詰　六、五　五、八

◇八月廿七日前項順入庫
觀測時　後六時　前十時
氣　溫　二、一　一、九
紙包無墳充　四、七　三、一
同　鋸屑詰　六、九　四、一
同　木毛詰　六、二　三、一

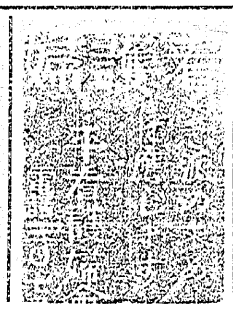
果實の冷却を止めて實驗室に取り出して放置

◇八月二十九日
觀測時前十時　零　時　後二時
氣　溫　二七、八　二八、四　二九、四
紙包無墳充　三、一　五、一　八、九
同　鋸屑詰　四、一　四、七　五、七
同　木毛詰　三、二　三、七　五、一
觀測時後四時　同六時　同八時
氣　溫　二九、八　二八、四　二七、八
紙包無墳充　二二、九　一六、四　一九、四
同　鋸屑詰　七、九　一〇、九　一四、七
同　木毛詰　七、二　一〇、〇　一三、七
觀測時　後十時　零　時
氣　溫　二六、四　二五、六
紙包無墳充　二一、二　二二、六
同　鋸屑詰　一六、九　一九、三
同　木毛詰　一五、八　一七、九

店主が店員を連れて行かれる

正しい食堂
正しい喫茶
正しい酒場

平田町 レストラン サロン 電三六二



傘とパラソル

例年御定評を頂く當店特選の優秀な新柄を豊富に取り揃へて

ツルヤ 電一四〇

父白鴻院新盆佛事上小川村生家に於て相營み可申候處誠に乍勝手供物一切辭退申上候

白井一郎

平町 田町

贅沢の自慢の品良優も豚も牛

屋 御の内 は命用

ガソリン モビール油 日本石油株式會社 特約販賣

屋間油 店油内 關 電話長16 平城磐

支部 郡山市驛前通 電話長八二三
支店 茨城縣關本驛前 電話長平潟七三
油漕出張所 平町四丁目 郵便局前

石炭 コークス 豆炭 平町郵便局通り 水野石炭店 電話二九九番

診療科目

一、齒科一般
保存科、補綴科、繼齒架工科、齒列矯正科、小兒齒科、齒槽膿漏科、
二、口腔外科
三、レントゲン科

開業

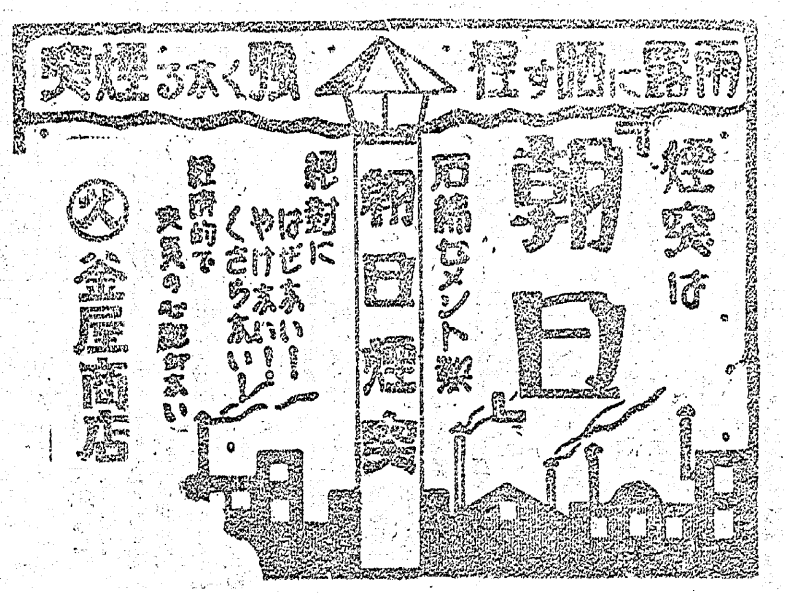
中野齒科醫院
院長 日本齒科醫學士 中野惠次
日本齒科醫學士 西川誠
平町田町(松月堂向ひ) 電話五〇九番

東神火災保險株式會社
東京動産火災保險株式會社
磐城生命保險株式會社

磐城代理店 河田鐵工場 河田梅吉
營業所 福島縣平町七丁目 電話三二九番 二九五番
本社 東京市日本橋通り三丁目
仙臺支部 仙臺市大町三丁目

入院應需 明雲堂眼科醫院 平驛前 電六六九番
◎自炊の便あり◎

（磐城共濟病院）福島縣平町字八幡一
內科　醫學博士 石山謙郎
小兒科　醫學博士 平賀一忠
產婦人科　醫學博士 五十嵐雄二
外科耳鼻咽喉科　醫學士 坂本眞一郎
皮膚泌尿器病科花柳病科　醫學士 前澤正
X光線療物科　醫學博士 石山謙郎
衛生試驗所獸醫科　高後利雄
藥劑師 吉本孝平
事務長 鈴木實雄
（毎日午前八時より午後十時迄診察）
◎…病室完備…入院隨意…◎



日掛は金十錢以上金五十錢までであります
六ケ月以上御掛けに成れば一ケ年分前賞致します
一ケ年御掛けになれば年五分に相當する配當があります

商品日掛販賣の標識

平町南町一九 一德合資會社平支店
出張所 四倉町本町九九 湯本町三函二〇一

有給外務員招聘

故金子木南氏十三回追悼會通知

福島民友新聞平支局長として往年石城政變に際し被疲遇寅次郎氏と憲政會(民政黨全身)の爲め孤軍奮闘した金子信三氏(木南)大正十一年舊七月十四日物故し十三回忌に當るので來る舊七月十四日(二十三日)午前十時平町長橋町性源寺に於て金子氏の十三回追悼會を催すことになりましたから多數御來會を願ひます、
當日は金子氏の實姉高橋みの氏も列席いたします
本廣告を以て通知に代へます、

石城民政部會
福島民友新聞平支局

院醫沼藤 平町 番七〇五 話電

貸車 手車 新規物を格安にお譲も致します 平谷 平町大町若松醫院前